

平成 30 年度の事後調査実施状況

鳥取県東部広域行政管理組合では、可燃物処理施設整備事業について環境影響評価を実施し、現在事後調査を行っています。（事後調査の詳細については、事後調査計画書 第4章を参照）

平成30年度に実施した事後調査の概要は表 1に示すとおりです。

表 1 平成30年度に実施した事後調査の概要

項目		内容	結果
水質	造成工事の実施における浮遊物質(SS)	<p>【内容】</p> <p>調査項目：浮遊物質(SS)</p> <p>調査時期：造成工事の実施における濁水による影響が最も大きくなる時期。</p> <p>【実施日】</p> <p>平成30年10月1日(月)</p> <p>調査地点：現況調査を行った地点を含む18地点</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-17頁～4-18頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <p>・調査地点における浮遊物質(SS)は、対象事業実施区域からの排水路である地点で56mg/L、対象事業実施区域からの排水が合流する地点で18mg/Lでした。</p>
騒音	建設機械の稼働による騒音レベル(L _{A5})	<p>【内容】</p> <p>調査項目：騒音レベル(L_{A5})</p> <p>調査時期：施工期間において騒音の影響が最大となる時期(工事開始後6ヵ月目)。</p> <p>【実施日】</p> <p>平成30年7月19日(木)</p> <p>(7時～19時の12時間)</p> <p>調査地点：事業実施区域の北側敷地境界付近の1地点</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-13頁～4-14頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <p>・調査地点における騒音レベル(L_{A5})の最大値は64デシベルであり、評価書において環境保全目標として設定した騒音規制法に基づく規制基準(85デシベル)を下回る値でした。</p>

振動	建設機械の稼働による振動レベル(L ₁₀)	<p>【内容】 調査項目：振動レベル(L₁₀)</p> <p>調査時期：施工期間において騒音の影響が最大となる時期（工事開始後6ヵ月目）。</p> <p>【実施日】 平成30年7月19日(木) (7時～19時の12時間)</p> <p>調査地点：事業実施区域の北側敷地境界付近の1地点</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-15頁～4-16頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査地点における振動レベル(L₁₀)の最大値は40デシベルであり、評価書において環境保全目標として設定した振動規制法に基づく規制基準(75デシベル)を下回る値でした。
植物	貴重植物の移植後のモニタリング	<p>【内容】 調査項目：コ克蘭、ミズマツバ</p> <p>調査内容：コ克蘭、ミズマツバの移植箇所において植物の活着状況を確認する。</p> <p>調査時期：対象植物の状況確認に適した時期に1回。</p> <p>【実施日】 コ克蘭： 平成30年7月24日(火) ミズマツバ： 平成30年10月2日(火)</p> <p>調査地点：事業実施区域内の移植地コ克蘭 2地点 ミズマツバ 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-19頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コ克蘭：平成28年に再移植した区画では計33株のうち、17株の生育を確認しました(生存率51.5%)。生育株については健全状態の株が増加する傾向がみられました。 ミズマツバ：移植地点表土の代掻きを実施しましたが、生育株を確認することはできませんでした。

	<p>ホンゴウソウの 保全措置</p>	<p>【内容】 調査項目：ホンゴウソウ</p> <p>調査内容：ホンゴウソウの生息地点を確認し、分布状況、株数を確認する。</p> <p>調査時期：ホンゴウソウの確認しやすい時期(8~10月)に1回。 【実施日】 平成30年10月2日(火)</p> <p>調査地点：環境評価書における確認地点 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-19頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホンゴウソウ：コドラート内及びその周辺において49株の生育を確認しました。
<p>動物・水生生物・生態系</p>	<p>フクロウのモニタリング</p>	<p>【内容】 調査項目：フクロウ</p> <p>調査内容：任意調査、定点調査等によりフクロウの縄張りの分布状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：フクロウの繁殖時期である2月、4月、6月に実施。 【実施日】 平成30年4月23日(月) 平成30年6月14日(木) 平成31年2月14日(木)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約5.0km (詳細は事後調査計画書を参照)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-20-21頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フクロウ：5月、6月、2月にモニタリングを実施し、24例確認されました。造成工事開始時に確認回数が減少していましたが、確認回数は回復傾向がみられました。

	<p>カスミサンショウウオ・イモリの仮移植及び仮移植後のモニタリング</p>	<p>【内容】 調査項目：カスミサンショウウオ・イモリ</p> <p>調査内容：任意調査により移植したカスミサンショウウオの産卵状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：カスミサンショウウオの産卵器、イモリの越冬期である2月、3月に実施。</p> <p>【実施日】 平成31年2月14日(木) 平成31年2月15日(金) 平成31年3月5日(火) 平成31年3月6日(水)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約0.2km</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-20-21頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カスミサンショウウオ：楮谷溜池上流湿地において2月に卵のう3対、3月に成体3個体を確認し、産卵場所となっていることを確認しました。 ・イモリ：移植地ではイモリの生息は確認されませんでした。
--	--	--	---

<平成30年度の主な実施状況写真等>



水質調査の様子



騒音・振動測定の様子



結実したコクラン



コクランの花



ホンゴウソウ



ミズマツバ生育地の表土撒きだし箇所



フクロウ林内踏査状況



確認された樹洞



対象事業実施区域周辺で確認されたカスミサンショウウオの卵のうと成体